

パンフレット  
101-1

マグプランターのつくり方

マグプランターは陶器やセラムックスなどの窯などによる加熱操作や、化学的操作はしません。できあがったマグプランターは自然の趣きをそのまま現わします。

つくり方には3つの方法があります。

①型枠になるような、適度な硬さがあって、かつ柔らかさのある器(型枠として利用)にスラリーを塗り付けて、造形。

そして、このような型枠はポットボトルなど、身近な容器を利用できます。

極めて簡単に、プランターをつくることができます。

②自分好みの自由気ままの型枠をつくり、その型枠に自由気ままにスラリーを塗り付けて、造形  
(ご注意)粘土とは異なり、水が少なくても可塑性が高いので、石膏と同様に、型枠がないと造形が難しいです。慣れないうちは何らかの型枠をご使用ください。型枠は、薄手のあるいは柔らかいアクリル樹脂製品など、市販のものを使用することができます(硬いものは脱型が大変です)。慣れてきたら、ご自身でオンリーワンの型枠をつくと、更に楽しみがわきます。

③粘土細工と同じようにマグ造形材に水を加えてこねて、そのまま造形(型枠を使いません)

この場合、ある程度のコツ、例えば、加える水量をどの程度にするかなど、造形体の形状に対応して変えるなどの事前の予測が必要になります(何回か、経験すると容易にわかります)。

[ 作り方の例—①の方法 ]

ここでは、簡単につくりすることができる①の場合について、説明します。

キット中のプラスチック容器を用いると、重さ約 300g のプランターをつくることができます。

この重さの場合、プランターの大きさは、例えば、外寸法が 11×11×9cm 程度のプランターをつくることができます。厚さは大体、5mm 程度以下です。強度が高いので、厚くする必要はありません。

プランターをつくる型枠は、最初のうちは、市販されている適当な容器(プラ容器がよいです。使い捨てができ、かつ、その残骸は、家庭ごみとして廃棄できます)を探して利用します。慣れてきたら、色々なものを型枠に利用できます。

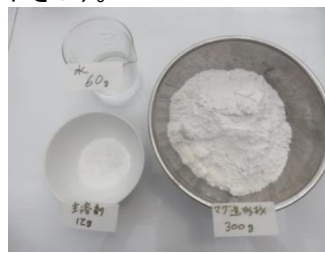
ここでは、キット中のプラ容器を型枠に使います。

1 はじめに、マグ造形材のスラリーをつくります。[ 初日(1日目)の作業 ]

次の2つを計量します。

- ① マグ造形材を 300g
- ② 水を 60g (マグ造形材の 20%)

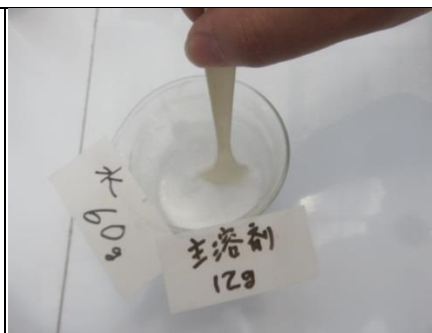
(注 この量はスラリーにするための目安です。スラリーにするための道具にへらなどを使ってこねるか、あるいは攪拌機などを使用するかによって、スラリーの柔らかさが違ってきます。最初に使用する水はマグ造形材の 15%程度でもよいかもしれません(マグ造形材が 300g の場合、45g)。その後、適度な柔らかさになるまで、水を随時加えて下さい)。








2 スラリーをつくります





主溶剤を水に入れて、攪拌します。





よくかき混ぜます。


	<p>直接、水と主溶剤を混ぜたものを型枠の中に入れます。</p>		<p>型枠の中にマグ造形材を投入します。</p>
	<p>投入終わり。</p>		<p>かき混ぜます。</p>
	<p>よく練って、柔らかくします。ねばねばして硬いようでしたら、水を加えます。ここでは、そのようなので水を5g加えて入れて、かき回して、柔らかくします。水は合計65g。割合では、<math>(65/(300+65))=18\%</math>。 ここでは、かき混ぜはスプーンでしていますが、攪拌機を使用する場合には、もっと少ない水でスラリーをつくることができます。柔らかい場合はマグ造形材を追加して、塗りやすい柔らかさ(耳たぶ程度の柔らかさ)にしてください。</p>		

### 3 型枠への塗り付け

	<p>スラリーができたならば、型枠の内側の周りによく塗り付けていきます。</p>		<p>出来上がりです。</p>
--	--	---	-----------------

### 4 養生と脱型

	<p>①養生とは、固まるまで静かにそのままにしておくことをいいます。塗り付けた器を裏返しにして、固まるまで12時間強ほど、そのままにしておきます。</p>		<p>す。引きはがせば、脱型終了です。 (注)脱型前に小口をカッターや紙やすりなどできれいに整えておくと、できあがりの時の見栄えが大変良くなります。</p>
<p>その後、触ってみて、感覚で硬くします。完全に硬化したなと思ったら脱型します。ここでは、型枠は薄いので、硬いので、その作業が簡単に引きはがすことができます。大変になります。</p>		<p>その後、触ってみて、感覚で硬くします。完全に硬化したなと思ったら脱型します。ここでは、型枠は薄いので、硬いので、その作業が簡単に引きはがすことができます。大変になります。</p>	

	<p>脱型後は表面が湿った状態になっていますので、見た目では表面が乾燥するまで、放置しておきます(正確には、重量を経時的に、例えば、1日1回決めた時間に重量を計測して、重量が略同じになった時が硬化したと判断することができます)。通常、表面がほぼ硬まるのは5~7日を要します。しかし、内面バリア剤を塗る場合は、通常、そこまで厳格に対処する必要がありません。目視で硬くなったと思ったら養生終了と考えても差し支えありません。 その間は素手で触らないでください。触ると、触れた部分にその後指紋が浮かび上がり後々まで残ります。硬化が終了する(大体5~7日間程度)前に触れる場合は、キットの中にあるビニール手袋を使用して下さい。 ここまでが、1日目の作業になります。</p>
---	---

## 5 表面の塗り [翌日(2日目)の作業]



翌日(2日目、)固まっていますので、その固形体の外側面(仕上げ面)に刷毛で化粧剤を塗ってください。1回塗り(3g)終わった後、3時間後くらいにもう1度、2回目(合計6g)を塗ってください。

## 6 内面の塗り [翌日(2日目)以降の作業]

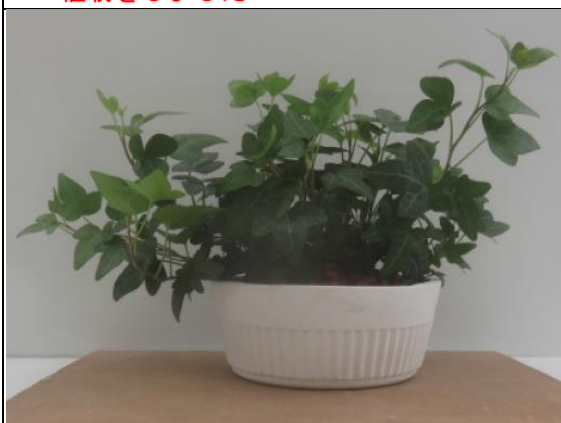


表面の2回の塗りが終了した後、翌日(2日目、12~24時間後)固まっていますので、その固形体の内側面に、表面と同様に、化粧剤を塗ってください。

1回塗り(1回の塗りで約7g)が終わった後、乾いたと思われる3時間後位にもう1度、2回目を塗ってください。もし、薄い所や穴が開いているところなどがある場合には、再度、前と同じ要領でスラリーを製作してその部分に塗り足しをして補修をしてください。

(注)

## 7 植栽をしました



植栽をしました。

化粧塗りの終了後、5日目に、植えてみました。

ちなみに、プランターに水を張った時のpHはリトマス試験紙で8でした。土を盛った時は、pHはより小さくなると考えられます。

(注1) 乾いたことの見方

①器自体が乾いたことの見方：脱型後から経時的に重量を測っていきます。ほぼ、重さが変化なしの状態になりましたら乾燥したと考えても差し支えありません。

②塗剤が乾いたことの見方：水を吹き付けて、その水滴がはじくような水玉になりましたら、乾燥したと考えても差し支えありません。

(注2) マグプランターの型枠について

型枠があると、そのまま自分の想いを確かな形で作ることができます。工業生産用の型枠は大量生産を目的としているため非常に高価ですが、ハンドメイドの場合は一品生産なので、アイデアと型枠材料の工夫で容易に安価につくることができます。ご希望の方は弊社までお問い合わせください。無料で型枠の製作方法をご紹介します。



イワ建のロゴマーク

○色とイメージ

小豆：気品 高貴 エレガント 粋

金：高い技術水準

水：清い 地球(環境)